

都市再生整備計画 事後評価シート  
新居浜駅周辺地区



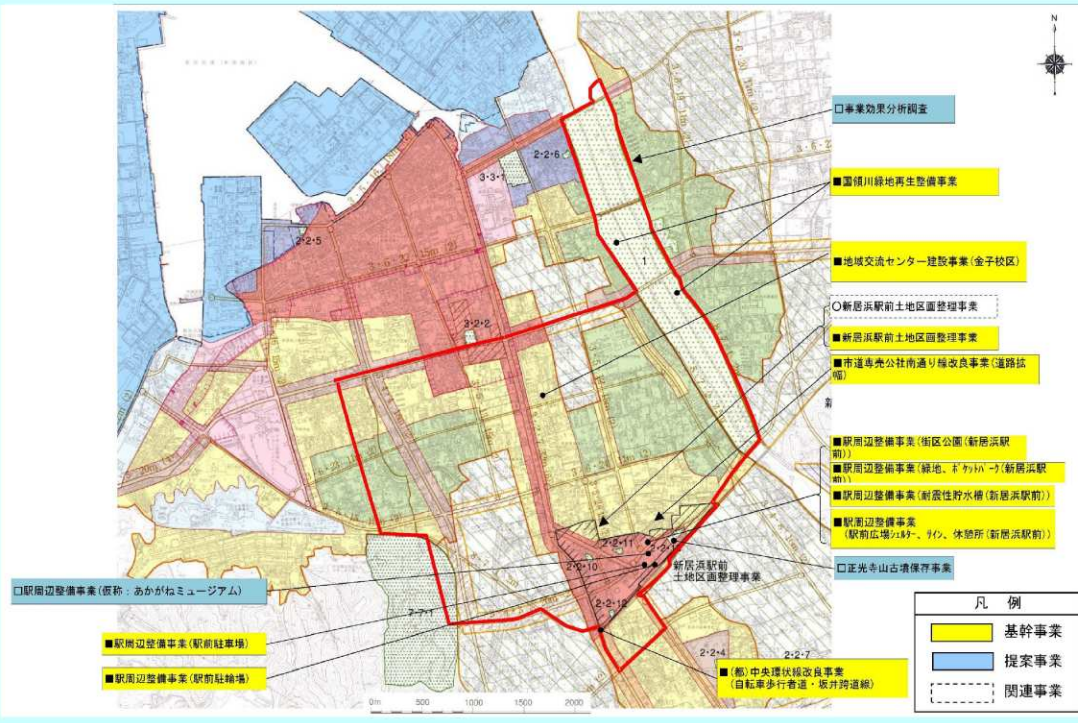

平成24年3月

愛媛県新居浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県	市町村名	新居浜市	地区名	新居浜駅周辺地区		面積	415ha					
交付期間	平成20年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	2,049百万円	国費率	0.413						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(都)中央環状線 坂井跨道橋、市道専売公社南通り線)、公園(街区公園(新居浜駅前))、地域生活基盤施設(緑地、ポケットパーク(新居浜駅前)、国領川緑地、耐震性貯水槽(新居浜駅前))、高質空間形成施設(駅前広場シェルター)、高次都市施設(地域交流センター(金子校区))、土地区画整理事業(都市再生)(新居浜駅前)										
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析調査)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	地域創造支援事業(金子公民館解体事業)		基幹事業への位置付け変更のため。		影響なし。						
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駅前駐車場)		市民や利用者から公共駐車場の整備が求められたため、新規事業として追加した。		目標1(出合いの場)を示す指標として、ピーク時間車両待機台数を追加した。						
			地域生活基盤施設(駅前駐輪場)		市民や利用者から公共駐輪場の整備が求められたため、新規事業として追加した。		指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。						
地域生活基盤施設(国領川緑地(情報板))			公園利用者の利便性の向上を図るため、国領川緑地の施設情報を伝える情報板を追加した。		指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。								
高質空間形成施設(休憩所(新居浜駅前))			市民とともに検討した駅前広場等整備計画の提言に基づき、事業内容を見直した。		指標「交流人口」、「住民満足度」への影響が考えられるが、他の要因による影響も考えられるため、数値目標は据え置いた。								
交付期間の変更	当初変更	-		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
		-		-		-							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	交流人口	人/年	1,720,000	H16 2,500,000	H23	モニタリング	評価値	2,254,785	△	あり	新居浜駅周辺整備等により、駅利用者等は着実に増加しているが、基盤整備の効果の波及に時間が掛かる、地区外のデータを含むこともあり、目標は未達成であった。	平成24年6月
	指標2	住民満足度	%	12	H19 60	H23	-	41	△	あり	満足度は事業前から大きく上昇したものの、回答者に地区外の住民を多く含んでいたこともあり、目標達成には至らなかった。	-	
	指標3	中心市街地人口	人	24,275	H19 25,200	H23	-	24,447	△	あり	土地区画整理事業により良好な住宅地が確保され、公園整備等により良好な住環境が確保されたが、集計対象に当該地区以外を多く含んでいたこともあり、目標達成には至らなかった。	平成24年4月	
	指標4	ピーク時間車両待機台数	台	28	H22 0	H23	-	0	○	あり	新居浜駅前駐車場の整備等により、駅前の待機車両を減少させ、交通環境の改善を図ることができた。	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	地域交流センター利用者数	人/年	58,942	H19		-	65,437		あり	地域交流センターは、日常利用に留まらず、イベント等に活用されており、地域の交流を活性化することが可能となった。	平成24年4月	
	その他の数値指標2	地区内住民の満足度	%	-	-		-	61		あり	公園や休憩所の整備等により、地区内住民の駅周辺に対する満足度は高い。	-	
その他の数値指標3	駅前区画整理区域内人口	人	452	H19		-	677		あり	新居浜駅前土地区画整理事業による宅地の形成や、周辺の住環境整備により、駅前区画整理区域内の人口は増加している。	平成24年4月		
4) 定性的な効果発現状況	<p>・JR新居浜駅イベント来訪者のアンケートにおいて、「駅が美しくなって良かった」、「駅前が立派になった」等の、地区の景観の向上に関する意見が多く寄せられた。</p> <p>・評価委員会において、「駅前広場に車が止めやすくなった。」「地域交流センター(旧金子公民館)はこれまでアクセス性が悪かったが、周辺道路整備等により利用しやすくなった。」「地区内の住環境が格段に良くなった。」「駅周辺整備は市民の長年の夢であり、子や孫の世代にとつての良い遺産になったのではない。」「国領川緑地は県のソフトボール大会等で、週末はほとんど埋まっている。」等の意見が挙げられた。</p>												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	実施なし。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	地元住民を含む「新居浜駅前広場等整備検討委員会」を組織し、新居浜駅周辺のまちづくりについて検討を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					提言書の内容を参考に、施設の適切な維持・管理を行うと共に、今後も公民協働の取り組みを進める。		
持続的なまちづくり体制の構築	地域住民(新居浜駅前地区まちづくり協議会等)を中心に、整備された施設等を活用した取り組みを進める。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					今後も地域と行政が一体となって、まちの課題解決等に取り組んでいく。			

## 様式2-2 地区の概要

新居浜駅周辺地区(愛媛県新居浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値			
大目標:市の玄関口として様々な人の出会いを演出しつつ、 地域資源を生かした潤いと活力に満ちた、便利で安心できるまちづくりを目指す。 目標1:市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現を図るまちづくり 目標2:潤いと活力に満ちたまちづくり 目標3:便利で安心できるまちづくり		交流人口	単位:人/年	1,720,000	H16	2,500,000	H23	2,254,785	H23
		住民満足度	単位:%	12	H19	60	H23	41	H23
		中心市街地人口	単位:人	24,275	H19	25,200	H23	24,447	H23
		ピーク時間車両待機台数	単位:台	28	H22	0	H23	0	H23
		地域交流センター利用者数	単位:人/年	58,942	H19	—	H	65,437	H23
		地区内住民の満足度	単位:%	—	H	—	H	61	H23
		駅前区画整理区域内人口	単位:人	452	H19	—	H	677	H23
<b>■新居浜駅前土地区画整理事業</b>  <b>■駅周辺整備事業</b>  <b>■(都)中央環状線改良事業</b> 				<b>■地域交流センター整備事業(金子校区)</b>  <b>□正光寺山古墳保存事業</b>  <b>■国領川緑地再生整備事業(トイレ設置等)</b> 					
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新居浜駅前広場等整備検討委員会」での協議など、住民との協働により、課題であった新居浜駅前土地区画整理事業を着実に進めることができた。</li> <li>・生活環境の向上等のため、街区公園、緑地及びポケットパークや国領川緑地を整備し、アンケートで地区住民を中心に高い評価を得ている。</li> <li>・地域交流センター(金子校区)を整備し、地域住民の交流やコミュニティ活動拠点、防災拠点としての機能を高めることができた。また、市道専売公社南通り線、(都)中央環状線の整備により、道路の安全性を高めることができた。</li> <li>・都市計画道路、駅前広場、駅前駐車場、駅前駐輪場(用地)の整備を行い、新居浜駅の交通結節点機能を高めることができた。</li> <li>・地区内の公園・緑地の整備は進んだものの、市の玄関口である新居浜駅前の環境づくりは十分でなく、市民や来訪者がより魅力的に感じるよう、さらにまちづくりを推進していく必要がある。</li> <li>・駅前駐輪場(本体)の整備が残っているほか、駅南北を結ぶ跨線橋が老朽化しており、安全かつ快適に移動できるための改善など、駅南北の交通利便性をさらに高める必要がある。</li> </ul>								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元による整備されたまちにおける景観づくり、清掃活動等の支援などにより、良好な景観の維持・向上を図る。</li> <li>・地元との協働により、公園・緑地の良好な環境や景観の維持・向上を図ると共に、マナーアップ標識やごみ箱の設置検討を行う。</li> <li>・地元の取り組み支援等により、地域交流センターの活用とまちづくりの促進を図る。</li> <li>・施設管理者により交通施設(道路、駅前広場等)の適切な維持・管理を図り、高まった交通利便性を維持する。</li> <li>・市民や来訪者が集い賑わう出会いの場の実現に向けて、新居浜駅周辺の環境づくりや地域資源を生かした施設整備(あかがねミュージアム)の計画、整備を進めると共に、住民等との協働により施設の活用を図る。</li> <li>・安全で便利に移動しやすいまちづくりに向けて、駅南北の交通施設のさらなる改善を図る。</li> </ul>								